

古波藏一杯
第9回宮古島幼少年剣道錬成大会実施要項

- 1 目的 正しい剣道を目指して修練する少年らが日頃練磨した技を競うあう中で、大きな大会に臨む強い精神力と気迫を練り、心身の鍛錬を図りつつ剣士相互の融和団結と剣道修練に限りない協力を惜しまない家族の絆を一層深めることを目的とする。
- 2 主管 宮古剣道連盟
- 3 協賛 宮古剣道連盟少年剣士親の会
- 4 期日 令和元年11月10日(日) 午前12時 集合
午後1時 開会式
- 5 場所 東小学校体育館
- 6 試合要領 個人戦とし次の要領による

(1) 基本形式の部

保育園児・幼稚園児・小学生とし防具を着用しての稽古経験のない者で次の課目を行う。

- ① 礼法(座礼・立礼)
- ② 構え(中段)
- ③ 体の運用(前後・左右)
- ④ 二拳動打ち(正面・右小手・右胴)
- ⑤ 連続打ち(前進・後退正面打ち)
- ⑥ 踏み込み打ち(正面・右小手・右胴)

(2) 競技形式の部

小学校1～3年生とし、防具一式を着用して稽古中の者で次の課目を行う。

正面・右小手・右胴・小手→面・小手→胴・小手→面→胴・正面→引き面・

正面→引き小手・正面→引き胴・小手→面→引き胴・打ち込み切り返し

(元立ちは指導者が行う)

(3) 試合形式の部

小学校 4～6 年生で試合稽古経験者

- 7 試合及び審判 「全日本剣道連盟試合・審判規則・同運営要領」及び本大会実施要項並びに同申し合わせ事項による。
- 8 試合方法 試合は各部ともトーナメント方式を原則とするが、参加者数によってはリーグ方式もありえる。
- 9 試合時間 (1) 基本形式の部・競技形式の部は概ね 3 分間とする。
(2) 試合形式の部は 3 分間 3 本勝負とし、時間内に勝敗の決しない場合は、勝敗の決するまで時間を区切らず延長戦を行う。
- 10 参加資格 宮古島で剣道を修練している園児及び児童とする。
- 11 申込方法 令和元年 11 月 2 日（土）まで所定の様式で申込むこと。
- 12 参加料 無料
- 13 表彰 各部門とも優勝者に優勝杯を授与する。
各部門とも三位までに賞状を授与する。
- 14 その他 (1) 本大会は原則年に 2 回程度とする。
(2) 優勝杯は待ち回りとし、大会回数、期日、優勝者の氏名を記載したペナントをその都度取り付ける。

【基本形式の部】 課目及び号令

課目	細目	号令
礼法・構え	開始	「正面に礼」(約30度)
	座礼	「礼法を行います」 「正座」・・・「礼」
	立礼	「起立」・・・「提げ刀」・・・「礼」(約15度)
	構え	「中段の構えを行います」・・・「帯刀」・・・「抜け刀」
体の運用	前後	「体の運用を行います」 「前後の送り足〇回」 「始め」・・・「止め」 (掛け声は一、二)
	左右	「左右の送り足〇回」 「始め」・・・「止め」
二挙動打ち	正面	「二挙動打ちを行います」 「二挙動の正面打ち〇回」 「始め」・・・「止め」 (掛け声はメン)
	小手	「二挙動の右手打ち〇回」 「始め」・・・「止め」 (掛け声はコテ)
	胴	「二挙動の右胴打ち〇回」 「始め」・・・「止め」 (掛け声はドウ)
	連続打ち	「連続打ちを行います」
踏み込み打ち	正面	「連続前進後退正面打ち〇回」 「始め」・・・「止め」
	正面	「踏み込み打ちを行います」 「往復〇回」 「踏み込んで正面を打て」
	小手	「往復〇回」 「踏み込んで右小手を打て」
	胴	「往復〇回」 「踏み込んで右胴を打て」
納刀・礼法	納刀	「納め刀」・・・「礼」・・・「正座」・・・「礼」・・・「起立」・・・「退場」
	終了	

【競技形式の部】

(正面・右小手・右胴) → (小手・面) → (小手・胴) → (小手・面・胴) → (正面・引き面) →
 (正面・引き小手) → (正面・引き胴) → (小手・面・引き胴) → (打ち込み切り返し)